

筑坂魅力化プロジェクト 活動報告書

標準服チーム

目的

制服を標準服にした場合に想定される問題とその解決策の具体案を提案し実施する

標準服化トライアル（方法、結果）

(方法) トライアル期間用の簡単なルールを作り、約2週間実際に標準服を試す。
(結果) 全校生徒の約8割が私服を着用して登校してきた。

トライアル事前・事後アンケート

(方法) Classiにてアンケートを作成し、生徒の中の今の制服や標準服化に対する意見がトライアルの前と後でどのように変化するか調査した。
(結果) 事前アンケートでは、標準服化に対して否定的な意見が多かった。 事後アンケートでは、肯定的な意見が増え、生徒の意識の変化が確認できた。

ディスカッション

(方法) 標準服チームで集まり標準服化に対する意見や各クラスの状況を報告し話し合う。
(結果) 標準服化にむけた簡単な心得の作成や、各学年の生徒の様子を確認することができた。

考察（結果から考えられること）

生徒の標準服化に対する意見やイメージは、社会や学校の状況に合わせて常に変わっていくので、その都度見直しや簡単なルールの変更を行うことができる機会を設ける必要があると感じた。
--

探究を通しての新たな課題

<ul style="list-style-type: none">定期的に見直しや話し合い、振り返りを行う機会を設ける必要がある。生徒にもう一度、「どのような服装が学業を行うのにふさわしいか」「なぜ標準服化するのか」を考えてもらう機会を作る。

